

ファンドレイジング・スクール11期
リアル・ケーススタディ

FOOD RIBBON

リボンがつなぐ「いただきます」

一般社団法人 ロングスプーン協会
代表理事 加藤紘章

一般社団法人
ロングスプーン協会

設立日　：2021年5月6日
創業者　：橋本展行（現会長）
代表者　：加藤紘章（現代表理事）
理事会　：4名＋監事
職　員　：非常勤有給2名
　　非常勤無給8名（プロボノ）
活動地域：全国36都道府県
事　業　：フードリボンプロジェクト
　　未来共創ラボ
　　グッズ販売

1　社会課題

日本の子どもの貧困と食糧不足・食糧不安

日本の子どもの貧困率

11.0%

厚生労働省 2026年 国民生活基礎調査

ひとり親世帯の貧困率

44.7%

厚生労働省 2026年 国民生活基礎調査

食糧困難を経験した世帯

12.1%

国立社会保障・人口問題研究所「生活と支え合いに関する調査」（2022年）よりこども家庭庁算出

支援のアクセシビリティ

毎日の利用が難しい

子ども食堂・フードパントリーの多くは月1〜数回。その日のニーズに応えられる支援の枠組みが不足している。

心理的スティグマ

支援を受けるのに申請や登録が必要なものは、個人事情の開示が前提になることがあるが、当事者は生活事情を隠したい。

支援の持続可能性

子ども食堂をはじめとする食支援の活動を運営するための人・お金・会場・食材などの資源を持続させる手段が必要。

フードリボンの仕組み

飲食店の日常導線を子どもの食支援の場に変える

①大人がリボンを買う

1つ300円の先払い

飲食店の会計や、
店に立ち寄った瞬間に。
飲食店の日常導線が、
子どもへの支援になる。



②ボードに掲示する

**店内にリボンが
ストックされる**

街の大人の善意が可視化。



③子どもの食事に

**中学生以下は
リボン1つで1食**

申請・審査・理由確認なし。「今日のニーズ」に、
そのまま応える。



展開しやすい

- 会場
- スタッフ
- チーム

といった新たな運営体制を必要とせずに全国展開ができる

受益者に届きやすい

毎日利用可能

お店が営業している限りアクセス可能。

安全な環境

利用のスティグマが少なく、かつ
衛生管理も取れた食事が提供される。

支援が集まりやすい

300円は100%そのお店での１食に。
＝直接性・透明性・信頼性が高い

参加登録店舗 (2026年8月26日時点)

327 ヶ所

うち実施開始 (2026年8月26日時点)

234 ヶ所

展開エリア (2026年8月26日時点)

36 都道府県

行政提携 (2026年8月26日時点)

16 自治体

確認*されたリボン支援

87,687 個

確認*された食事提供

67,890 食

*稼働店舗に対する任意回答のアンケート集計の累積値 (2026年7月時点、回答率20%前後)
*補足：実態推計値15万～20万食

飲食店の継続率

94%

“従業員やアルバイトのやる気が変わった”

“お客様のエンゲージメントが向上”

“新しい地域のつながりが新しいお客さんに”

“フードリボンの繋がりが将来の雇用や顧客につながる“

「地域みんなで子どもたちを育てる」

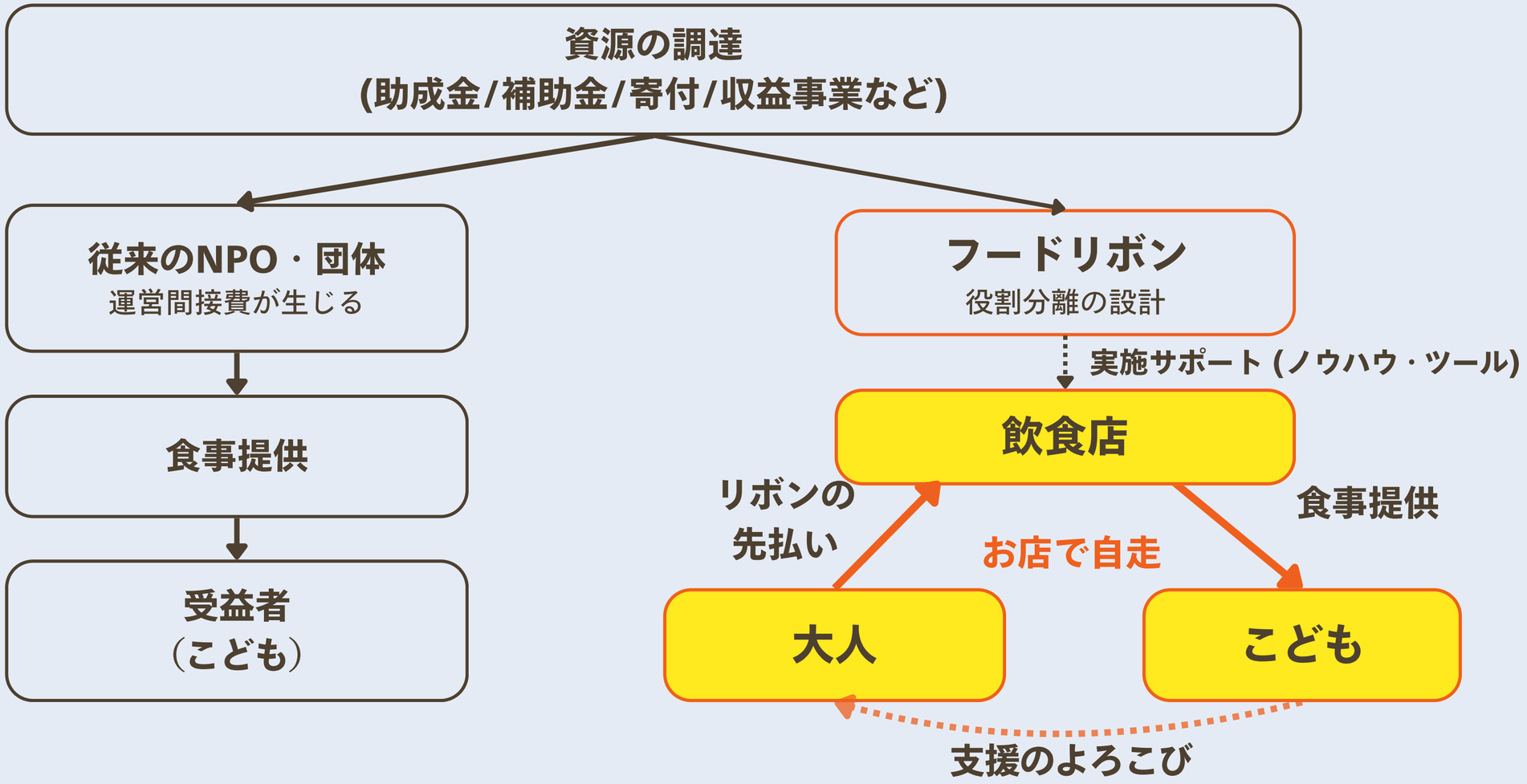
“小学生の子が1人、頻繁に利用しています。
複雑な家庭環境で育って、学校では問題児扱いを受け、友達も多くありません。最初は子どもだけの判断で来ていましたが、**今では お母さんともやり取りできるようになりました**。
さらには支援者の方も「**あの子は地域の大人みんなで育てていかないと**」と、お店がその子にとっての居場所になっていることを喜んでくれています。“

“いつものように子どもたちがきてご飯を出した時に、「じゃぁ、いただきますしようか」と言ったら、1人の子が「いいたくない」と言ったんです。そのときとても迷ったのですが、何かその子なりの事情や理由があるのかもしれないと思って、そっとしておくことにしました。そうしたら、その子は**後日もまたお店にくるようになって、今度は自分から「いただきます」といって食べるようになりました。**“

フードリボンの成果の測り方

- **ケ所数**
- **開催日数**
- **カバレッジ人数**
- 食数
- リボン支援数

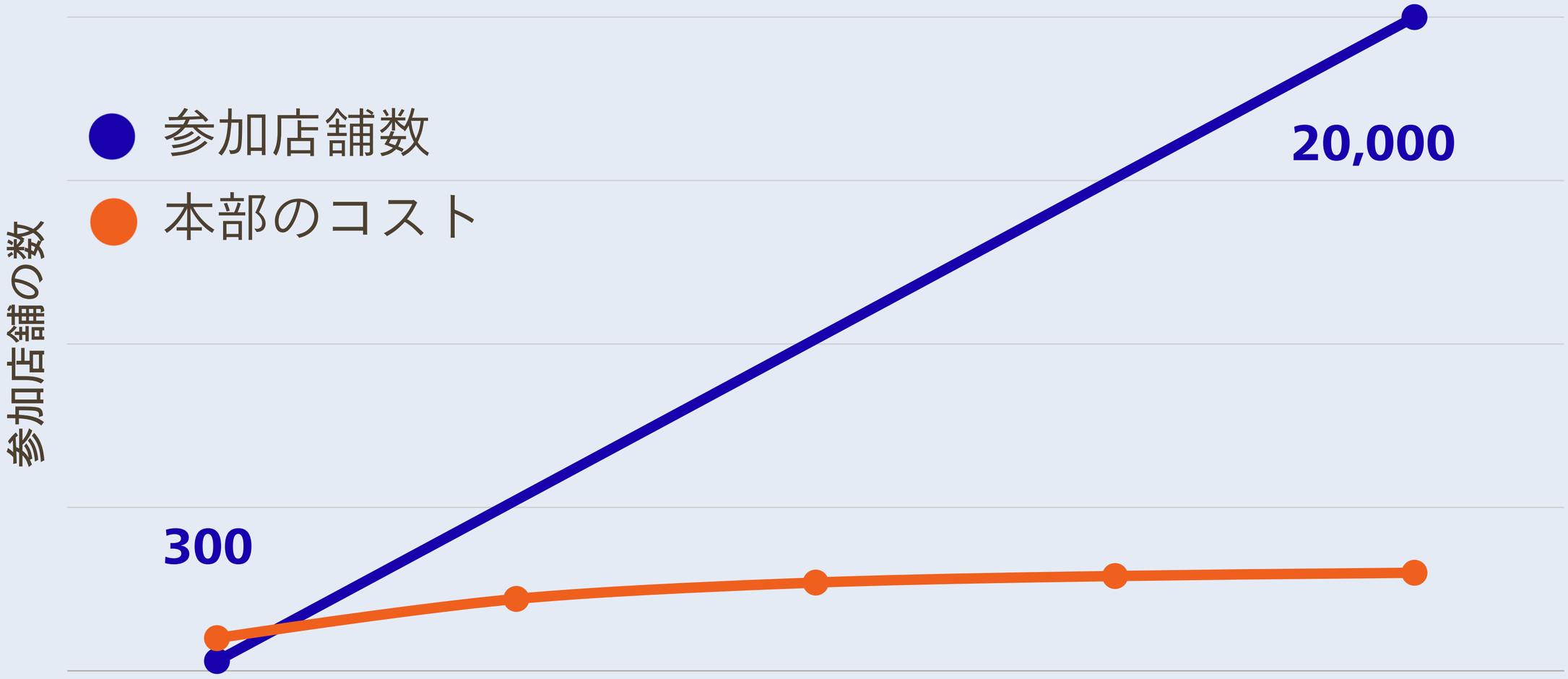
支援を地域に自走させる仕組み



団体が支援の運営を担う。
団体が止まれば現場も止まる。
活動が増える→団体必要コスト増。

本部は普及と伴走。支援は飲食店で地域自走。
団体が止まっても、地域に活動が残る。
店舗が増えても本部の負担は等比で膨らまない。

本部コストは事業成長に対して非線形で推移



事業の独自性まとめ

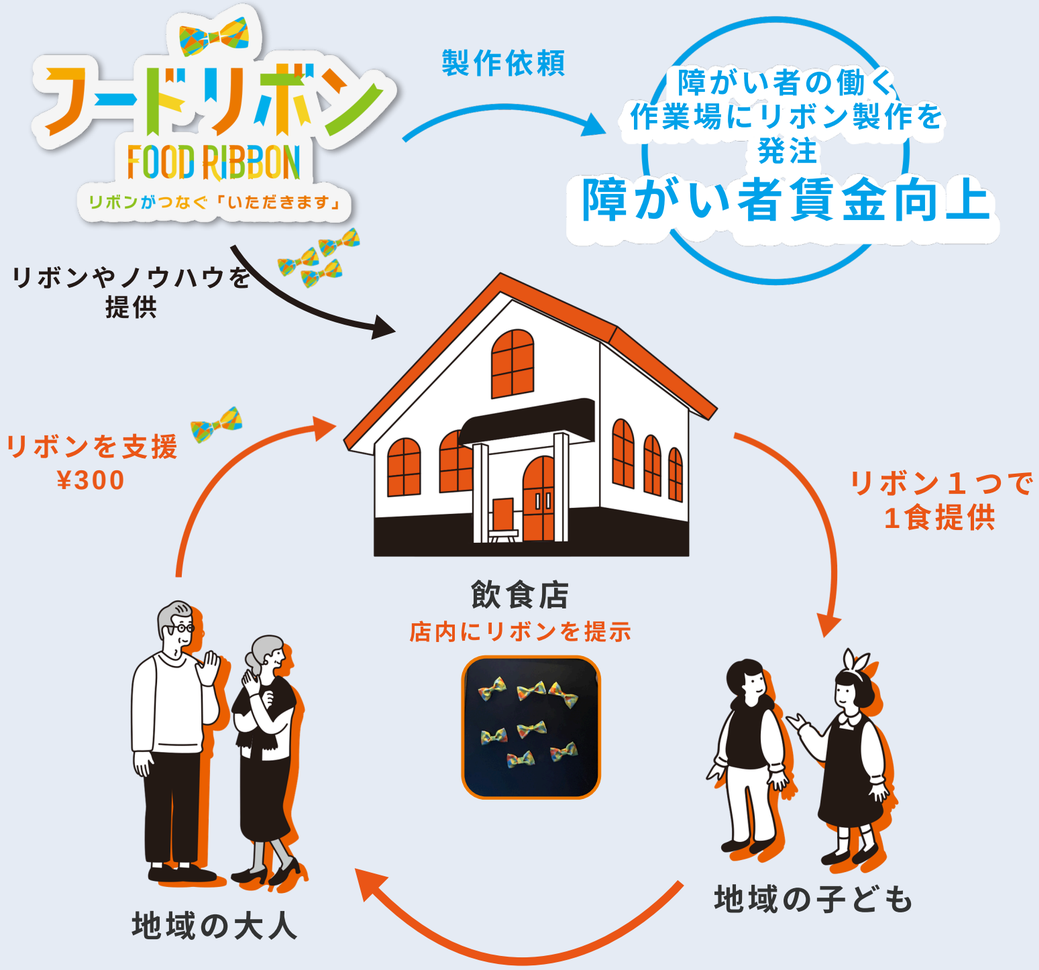
①既存の飲食店インフラを活用するため、毎日、安全で持続的な活動を全国展開が可能。

②持続・自走可能で恒常的な食の環境づくりになる。

③支援者側の意識変容にもつながる。

④低コストで行政・地域コミュニティとの連携がしやすい。

本部の役割・提供物



飲食店の導入に丁寧な設計と伴走が実施

社会性の強い取り組みだからこそ、実装を誤れば店舗の信用を損ねるリスクがあり、本業の経営活動にも支障をきたす可能性がある。そのため、フードリボンに取り組む時間帯・対象・メニュー・会計・広報・地域や子ども達とのコミュニケーションなど、個別具体の事前設計とコンサルティングに加えて、実施後サポートが必要であり、その実行には人・時間・ノウハウが要る。

フードリボン活動実施ツールを提供

物品提供：リボン・ステッカー
データ提供：広報チラシ、パンフレットなど

現場の課題

子ども達への普及

「子ども達に知られていない、知られた上でなかなか来ない」

「困っている子ほど情報弱者のようで」

飲食店の不安と孤立感

「自分たちはちゃんと取り組めているのかな」

「他のお店ではどうやってるのか知りたい」

「横のつながりがないと孤立しているように感じる」

実施安全性の確保

「食事以上の支援が必要そうな子どもがきているがどう対応したら？」

「保護者からクレームが来てしまった」

「ずっと300円のまま実施？」

「子どもの不適切な利用を抑えるには？」

「アレルギー対策はどうしたらいいだろう？」

現場を支えながら展開するための施策：
フードリボンの地域ネットワークを組織化

- 関東・静岡 (中東遠地域) ・大阪・香川の4地域で実施
- 各地域に団体の担当者をつける

子ども達への普及

- 社会福祉協議会
- 民生委員
- 児童養護施設
- 行政
- 子ども食堂
- PTA

などとの連携

地域の窓口

- 飲食店として実施
- 実施継続上のお困りごと
- 地域の連携・協賛相談
- 地域内フードリボンMAP
- 利用の問い合わせ対応

横のつながり

- 定例ミーティング
- 成果共有・交流会
- 地元行政・企業・農家・飲食店・ロータリークラブ・ボランティアなどとの連携

現場を支えながら展開するための施策：
本部機能の充実化

実施ツール

- リボン
- ステッカー
- のぼり旗
- POP類
- 実施の手引き

安全ガイドライン

- アレルギー対策
- セーフガーディング
- 会計基準
- 食事以上の支援が必要な子どものサインや後の対応

データ管理システム

- 飲食店
- 行政
- 協力者
- 地域団体
- ネットワーク
- 寄付者

らの管理

組織基盤

- 調査レポート
- ファンドレイズ
- ガバナンス規程

予算見込み

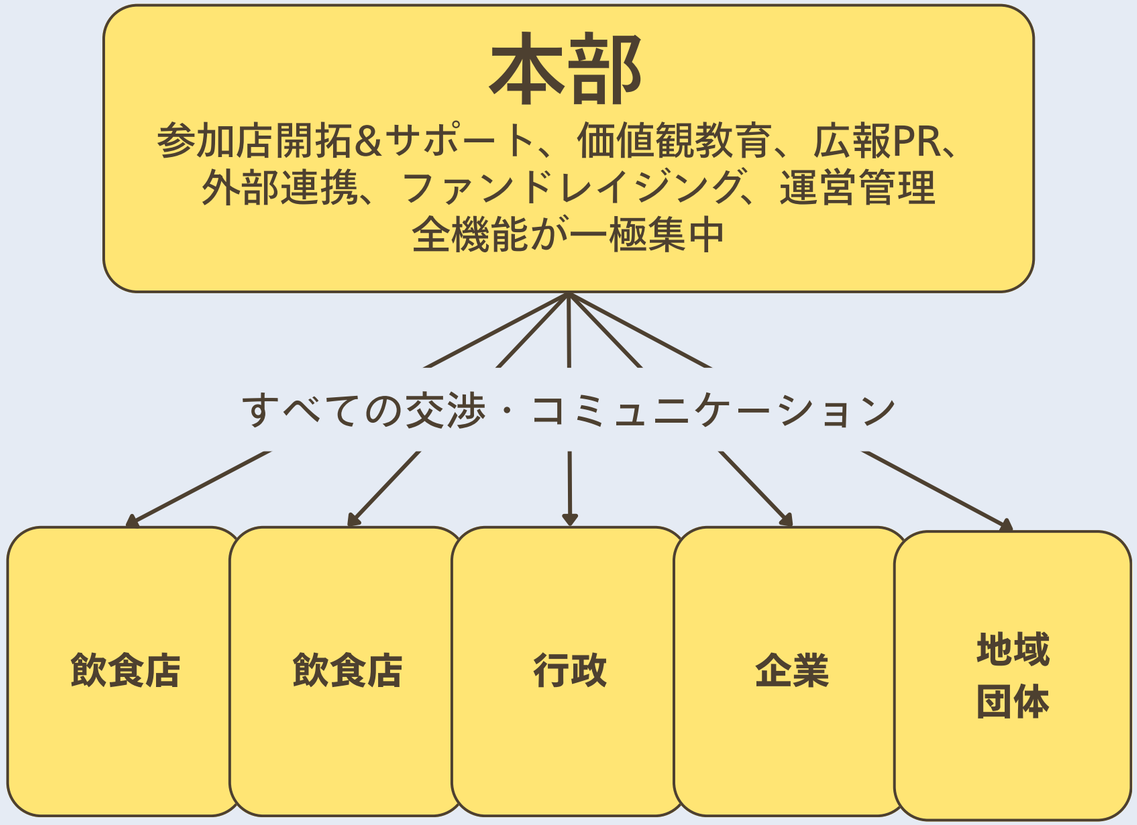
地域ネットワーク 年間300万円 x 4 エリア

- 人件費
- 定例会開催費
- 交通費

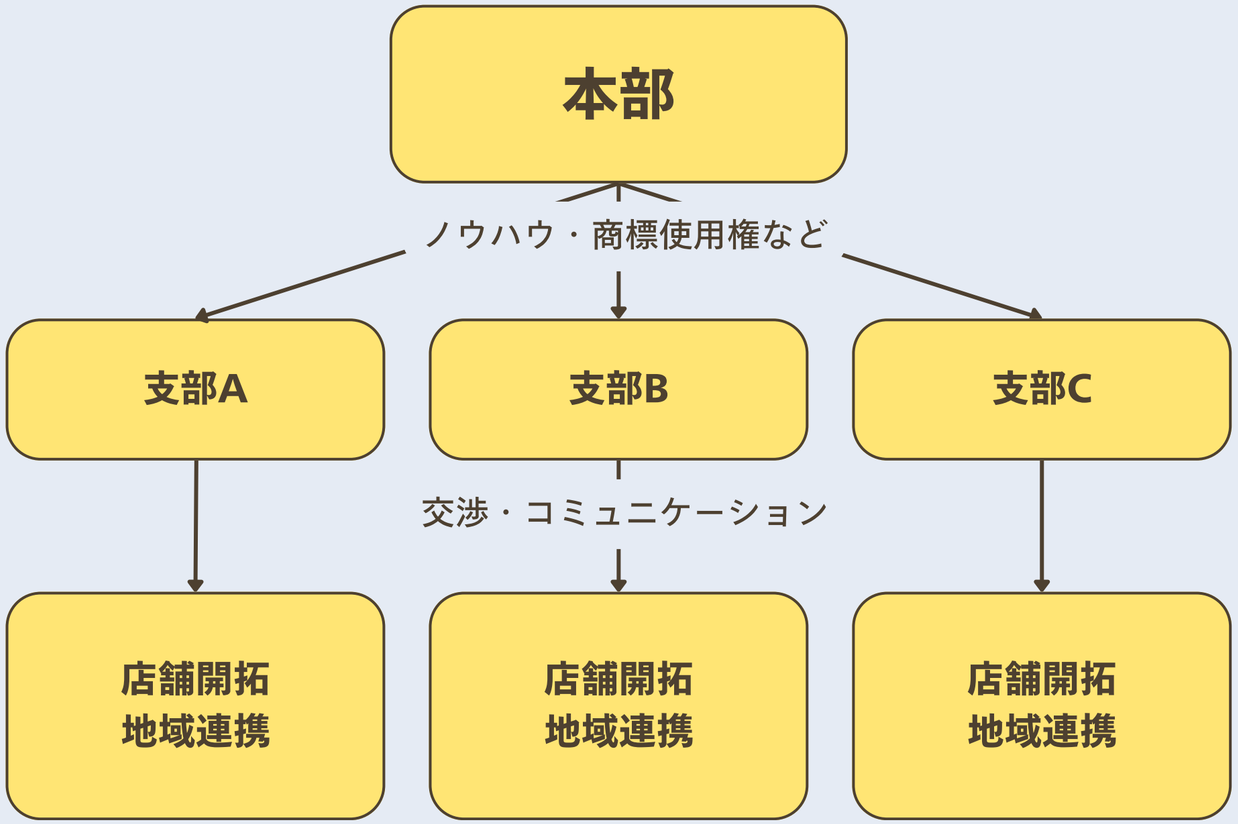
本部 年間1050万円

- 人件費
- ウェブ・CRMシステム
- 調査
- イベント
- 交通宿泊
- 実施ツール

現在の体制



目指すかたち



全国にフードリボンネットワーク（支部モデル）を作りたい

キーマンの存在

ミッションに深く共感し、時間的・精神的にコミットできる既存店舗・支援者・連携先・事務局・人材の密度が高い。

店舗数

店舗数に比べて、フードリボン展開にも協力的なお店が多い

地域連携の可能性

行政との包括連携協定、ロータリークラブ・社会福祉協議会など、行政・地域コミュニティとの連携事例が育っている。

ボランティア・地域団体を中心に地域支部を組織化

- 店舗開拓
- 実施サポート
- 地域内広報
- 受益者との橋渡し役
- 追加支援の仲介

など

フードリボンの資金の使い道

活動展開の資金 (本部)

団体が独自ファンドレイジングで調達。

- **店舗開拓** 新規参加店舗の発掘・面
- **導入支援** 実装設計とツール提供
- **窓口** 実施後の店舗サポート・相談
- **標準化** スクリプト・トレーニング整備
- **連携** 行政・企業・地域組織との協働
- **広報** ブランド、メディア、認知形成
- **運営** バックオフィス・データ・報告

食支援の資金 (飲食店)

飲食店に支援されるリボン300円で調達。

- 全額がお店で子ども1食分に充当
- 加盟金・手数料・会費なし
- 人件費・光熱費・広報物は店舗負担



本部と飲食店の役割

本部：活動展開

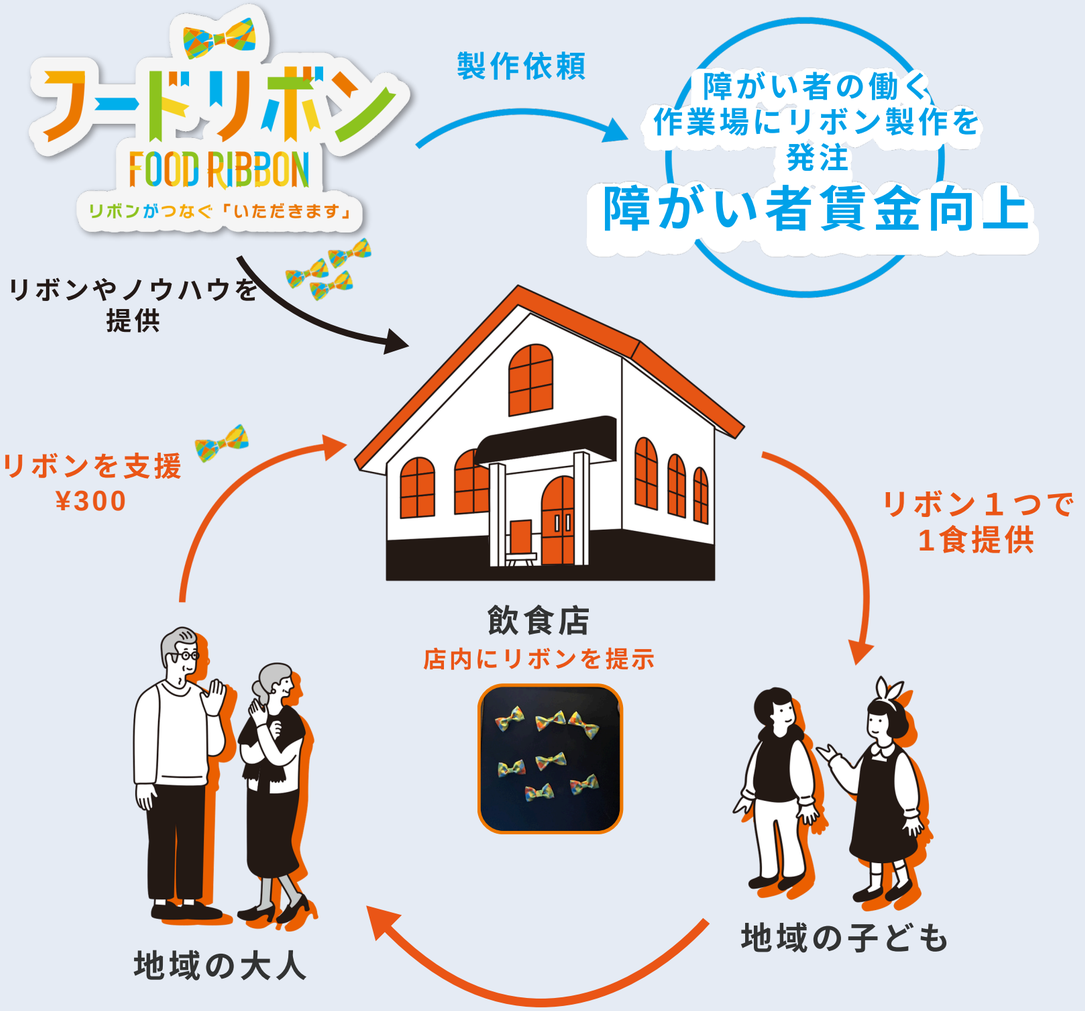
フードリボンの仕組みを社会に広く浸透

- **店舗開拓** 新規参加店舗の発掘・面
- **導入支援** 実装設計とツール提供
- **窓口** 実施後の店舗サポート・相談
- **制度設計** 運用ルール等の設定
- **広報** ブランド、メディア、認知形成
- **連携** 行政・企業・地域組織との協働
- **運営** バックオフィス・データ・報告

飲食店：食支援

飲食店に支援されるリボン300円で調達。

- 全額がお店で子ども1食分に充当
- 加盟金・手数料・会費なし
- 人件費・光熱費・広報物は店舗負担



補足スライド　店舗開拓・マーケティングファネル

	施策・アクション	主な担当主体	備考・制度要件など
認知	SNS発信	本部 / 支部	公式SNS運用
	メディア露出	本部	TV・新聞・Web等
	広告	本部	WEB広告運用検討
	グッズ露出	本部 / 支部	ステッカー・ポスター等
	店舗紹介	**認定ボランティア**	公式名刺・紹介資料を持参
興味	講演	本部 / 支部	全国講演・地域イベント
	Youtube・SNS	本部	事例動画・仕組み解説動画
	プレスリリース	本部	PR TIMES等での発信
	チラシ・資料・PR動画	本部	公式パンフレット・PR動画
	ブログ	本部	現場ストーリー発信
	ホームページ	本部	Webサイトリニューアル
	店舗訪問	**認定ボランティア**	ヒアリング・資料提示
理解	オンライン説明会	**認定ボランティア**	講習を受けたボランティアが担当
	個別打ち合わせ	本部	条件面・運用方法の個別設計
	訪問	**認定ボランティア**	不安解消・相談対応
	講演	本部	経営者向けセミナー
	説明動画	本部	オンデマンド説明動画視聴
参加	参加登録	本部	申込フォーム受領
	内部データ登録・更新	本部	顧客管理システム（CRM）反映
	店舗情報ウェブサイト掲載	本部	フードリボン店一覧へ追加
実施	ガイドライン提供	本部	店舗向けガイドライン
	ロゴ・広報物提供	本部	ステッカー、ポスター等
	実施ツール送付	本部	初回リボン100個等送付
	店舗情報ウェブサイト更新	本部	実際に稼働した店舗の公開
継続	相談窓口	認定ボランティア / 支部	困りごと・現場フォロー
	飲食店ミーティング	認定ボランティア / 支部	支部ごとの定期ミーティング
	ルール・規定作り	本部	現場課題を吸い上げた規定刷新
	店舗訪問	認定ボランティア / 支部	現場の様子・リボン在庫確認
	インタビュー	認定ボランティア / 支部	Web掲載用の記事作成
	事例集作成	認定ボランティア / 支部	地域事例のまとめ
	プレゼン大会（地域共有会）	認定ボランティア / 支部	地域成果共有会（年1回開催）
	全国支部ミーティング	本部	全国の支部が集まる総会

1. 認定ボランティア制度（暫定案）
   - 一定の要件を満たし、テストに合格した人を「認定ボランティア」として登録。
     - 提供物：名刺・資料・店舗訪問スクリプト。
     - 役　割：店舗開拓と実施店舗フォロー。

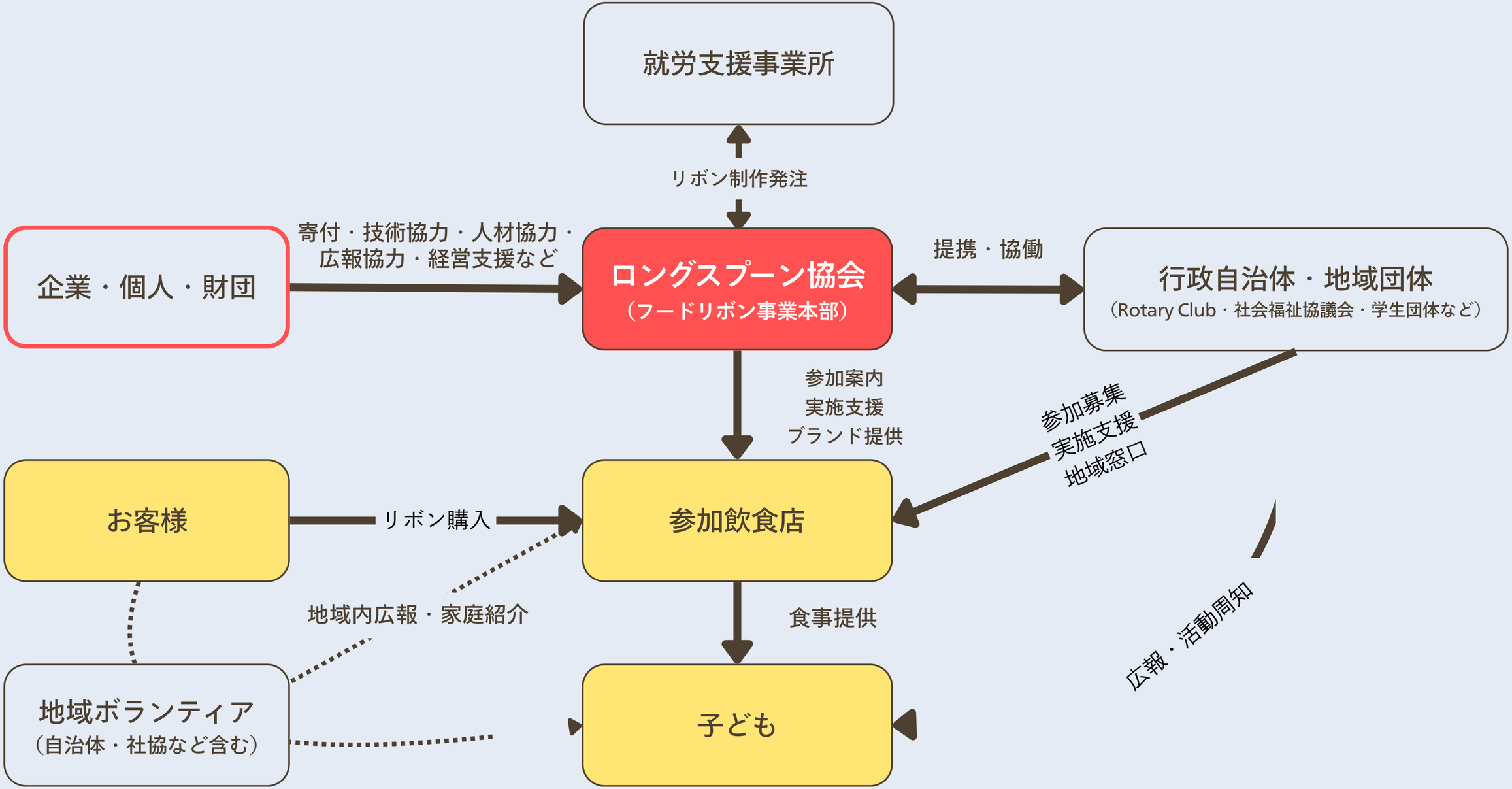
2. 支部制度（暫定案）
   - 認定ボランティア1名以上を含む有志数名の結成で支部として承認。
     - 本部の提供：支部運営マニュアル、販促物・資料一式、商標・ブランド利用権。
     - 支部の役割：
       - 地域での定期ミーティング
       - 地域フードリボン店の広報・開拓
       - 地域成果共有会の開催（年1回）
       - 全国支部ミーティングへの出席

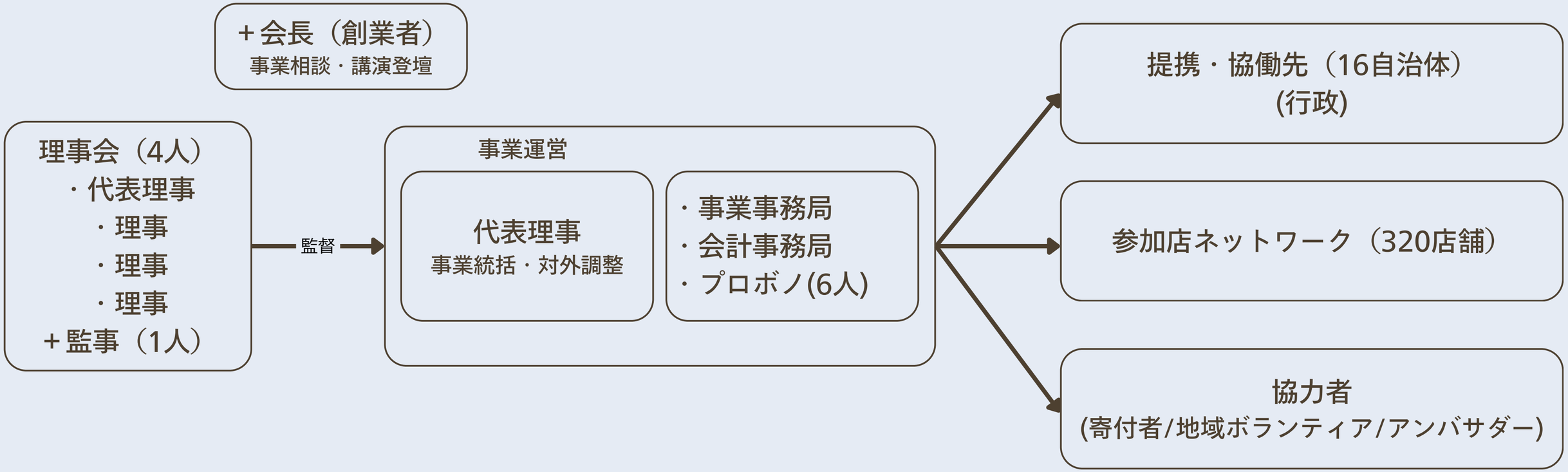
補足スライド　ファンドレイジング・マーケティングファネル

フェーズ	分類	施策・チャネル	主要計測指標 (KPI)	担当者
1. 認知・興味	新規	SNS	サイトPV / SNSインプレッション	代表理事
	新規	メディアPR	プレスリリース配信 / 掲載数	主担当
	新規	キャンペーン	クラファン・特設ページPV	主担当
	新規	グッズ広報	グッズ販売数	収益事業
2. 共感・理解	新規	講演	講演参加者数・回数	代表理事
	新規	ブログ	記事閲覧数	主担当
	新規	ホームページ	寄付転換率	主担当
	新規	メルマガ	リスト数	代表理事
	新規	コミュニティ投稿	コミュニティアクティブ数	代表理事
3. 初回寄付	新規	クラウドファンディング	初回寄付者数 / 支援金額	主担当
	新規	イベント	参加時寄付人数	主担当
	新規	グッズ販売	グッズ購入者数・販売数	収益事業
	新規	マンスリーファンディング	**新規マンスリー加入数 (最重要)**	主担当
4. 継続寄付	新規	マンスリーファンディング	**新規マンスリー加入数 (最重要)**	主担当
	新規	代表理事の個別お願い	大口・個別転換数	代表理事
	新規	稼働店舗でのチラシ掲示	店舗QRからのサポーター転換数	店舗担当
	維持	お礼メール	継続率	補助担当
	維持	会員証	継続率	補助担当
	維持	年次報告書	継続率	主担当
	維持	定期報告	継続率	補助担当
	維持	感謝状	継続率	補助担当
	維持	交流会	継続率	補助担当
5. 大口・法人	新規	法人営業	**新規法人サポーター数**	代表理事
	維持	法人向け成果レポート	法人更新率 (離脱ゼロ)	補助担当
6. 遺贈寄付	新規	窓口設置	遺贈・相続に関する相談・資料請求数	補助担当

講演（チラシ配布・寄付の案内）
↓
名刺交換
↓
メルマガ
↓
寄付の呼びかけ

など、
一つ一つ導線設計


就労支援事業所
リボン制作発注
企業・個人・財団
寄付・技術協力・人材協力・
広報協力・経営支援など
ロングスプーン協会
（フードリボン事業本部）
提携・協働
行政自治体・地域団体
（Rotary Club・社会福祉協議会・学生団体など）
参加案内
実施支援
ブランド提供
参加募集
実施支援
地域窓口
お客様
リボン購入
参加飲食店
地域内広報・家庭紹介
食事提供
広報・活動周知
地域ボランティア
（自治体・社協など含む）
子ども


＋会長（創業者）
事業相談・講演登壇
理事会（4人）
・代表理事
・理事
・理事
・理事
＋監事（1人）
監督
事業運営
代表理事
事業統括・対外調整
・事業事務局
・会計事務局
・プロボノ(6人)
提携・協働先（16自治体）
(行政)
参加店ネットワーク（320店舗）
協力者
(寄付者/地域ボランティア/アンバサダー)

3年前に作成したステークホルダーマップ

